

**伊東市民病院で
ございます。**

**Vol.10
2018.4**

**認知症疾患医療センター
開設1周年**

認知症疾患医療センター 開設1周年

センター職員挨拶

センター長 築地治久



センター長 築地治久



医師 夏山卓



保健師 曾根典子



臨床心理士 増田仁美



精神保健福祉士 高橋裕子

認知症疾患医療センターが開設されてから1年、かかりつけ医の先生方から毎日新たな事例をいただいております。認知症の患者さんは本当に多いと感じております。日頃の診療では認知症と判断しにくい事例も多くあり、患者さんが認知症であるのかどうか慎重に鑑別していくことが主な仕事になっていきます。顔を見ただけでわかるわけではありませんし、お話を伺っても世間話程度ではわかりませんので、認知症の診断に使われる認知機能テストのひとつである長谷川式スケールを活用し、記憶力低下や見当識障害の有無等を診察しております。

の定義の1つに挙げられる「生活に支障があるかどうか」の観点を踏まえると、パートナーが亡くなって独りになったとき初めて認知症が顕在化する、という事例があります。このようなことを考えると、独居の方や認知介護の方はより生活に支障がやすいと感じています。

認知症に関する問題は山積みではありますが、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを目標とした国の政策である「新オレンジプラン」に沿って、認知症の患者さんが地域で安心して生活できるように、スタッフと共に今後ともお手伝いさせていただきます。

医師 夏山卓

複数の病院や施設で働き、アメリカの大学で医学以外の学問を学んで経験を積み重ねていくうちに、人々の苦難についてより深く考えるようになりました。

患者さんを診察していると、その人が生きるうえでの

幸せ度を維持あるいは上昇させるためにできることは何か、悩ましいと感じることも多くあります。人の死がますます人の目から遠ざかっている時代だからこそ、病老死を踏まえた人生百年時代の生き方について考えることが必要だと考えています。

保健師 曾根典子

伊東市へ来て1年、80歳代の方が元気に生活していることに驚きつつも、日々相談者の皆さんに元気をもらいながら仕事をしています。相談や受診のお手伝いは難しいこともありますが、一緒に話をすることで少しでも「笑顔で生活できる」ための関わりができるよう日々努力しています。いつでもお気軽にご相談ください。

臨床心理士 増田仁美

私は臨床心理士として、患者さんに親身になってコミュニケーションをとりながら、検査結果にショックを受けて

平成29年度実績報告

いる気持ちを受け入れることができるように常に心がけています。また、ご家族の心配な気持ちや、認知症を患った患者さんの心が必要以上に傷つくことがないような対応の仕方、認知症の受け止め方など、心理教育等も実施しながらの1年でした。

本年度はより精度の高いテストを実施し、患者さんやご家族が楽しい生活ができるよう、お気持ちに寄り添っていきたいと思っております。

精神保健福祉士 高橋裕子

単なる物忘れだけでなく、妄想を伴う近所や家族間のトラブルでお悩みの方、両親・親戚・知人の様子を見て心配されている方への対応等、環境調整や問題解決の支援をしております。

それに加えて、研修会やケアマネ部会、地域包括支援センターへの事例提供といった活動も行っていますので、お気軽にお声がけください。

相談内容内訳 (図1)

相談内容は認知症の有無、原因疾患、重症度などを見極めるための鑑別診断についてが4割近くと最も多く、認知症の症状についてや、当センターに関する説明、BPSD(行動・心理症状)治療についてが次いで多いという結果でした。

年齢別相談対象者割合 (図2)

80～84歳の方が一番多く、次いで75～79歳、85～89歳と後期高齢者以上の方が8割以上となっております。支援者も高齢化していることにより、家族のみでの支援ではなく地域や第三者の支援も必要と思われれます。

研修会について

平成29年度は研修会や講演会を16回行い、認知症疾患医療センターの周知や認知症の基礎知識に重点を置いて研修企画いたしました。

7月に伊東市医師会・行政との共催で地域住民対象の認知症シンポジウムが開催され、220名と非常に多くの方にご参加いただいております。住民の皆さんの関心の高さを感じました。

9月に熱海市の起雲閣にて行われた地域住民と医療介護従事者対象の研修会では49名にご参加いただき、熱海市の方と

も情報交換が行うことができました。

その他に、来院された患者さんが気軽に参加していただけるよう企画された看護公開講座をはじめ、公民館や認知症カフェでのミニ講座等も行いました。

本年度は引き続き、認知症疾患医療センターの周知とともに、認知症の基礎知識のみだけでなく、対応方法や予防についても研修会をしていく予定です。

認知症疾患医療連携協議会

平成30年2月26日(月)にこの回目となる認知症疾患医療連携協議会が開催されました。

認知症に関する地域連携の現状や当センターの必要性を確認し、当センターへの要望等について知る貴重な機会となりました。



認知症疾患医療連携協議会



起雲閣で行われた認知症研修会



看護公開講座

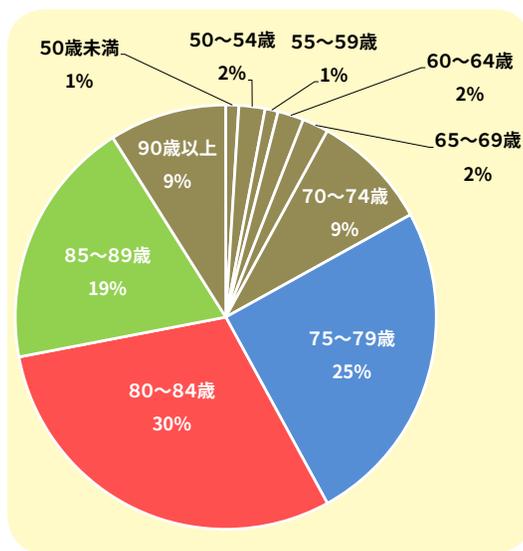


図2. 年齢別相談対象者割合 (%)

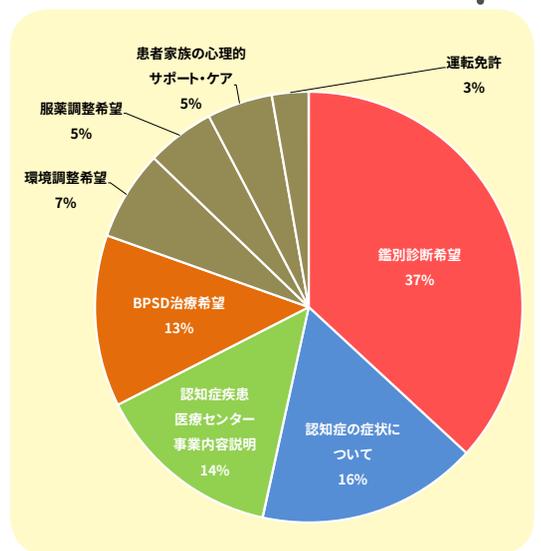


図1. 相談内容別内訳 (%)

地域医療連携室便り



医療安全研修会を開催しました

2月9日に医療安全研修会を開催いたしました。今回は弁護士法人東陽綜合法律事務所所長の東端克博氏をお招きし、「弁護士から見る、患者の権利と擁護の対策」「医療機関における個人情報保護の法的対策」をテーマにご講演いただきました。

実際にあった事例をもとに、揉めてしまった場合どのような解決手段があるか、トラブルを未然に防止するために何をすべきかが具体的に説明され、参加者から「どのように説明すれば患者さんに伝わるのか今後考えていきたい」「記録に残すことの大切さがわかった」といった感想が寄せられました。



平成30年度入職式を行いました

4月2日に平成30年度入職式を行いました。32名が伊東市民病院の一員としての第一歩を踏み出しました。

これから多くの知識と経験を積み、地域に根差した医療を提供する医療従事者として、安心・安全な医療サービスを提供できるよう努めてまいりますので、温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

ミニQ&Aコーナー

Q. 食堂と売店はどこにある？

A. 一般食堂は1階、カフェ「やまもも」は2階正面玄関からはいってすぐ、ホスピタルモール横にございます。病院売店は1階（院内の中央エレベータを降りた正面）にございます。

Q. 食堂と売店は何時まで？

A. 食堂は平日 11時～14時、土日祝日は休日となります。
カフェ「やまもも」は平日 9時～16時、土日祝日は休日となります。
売店は平日・土曜日 8時～18時、日祝日 9時～15時となります。



伊東市民病院
ito municipal hospital

〒414-0055 静岡県伊東市岡196-1
<http://www.ito-shimin-hp.jp/>

TEL:0557-37-2626

伊東市民病院

